



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和4年12月22日

第9号

1月 

「ぼくときみはおんなじだ」 「おんなじじゃない、にているってことさ」

校長 神田 敏之

人権週間に合わせて朝会で「どの人も違いがありそれを認めるという」という話をしました。始めに五味太郎さんの「にているね!?!」という絵本を読みました。馬はいすに似ていると言われて、始めは似ていないと言っていました。でもいすに言われてだんだん似ているかなと思いはじめました。最後に「ぼくときみはおんなじだ」と言いました。するといすから「おんなじじゃない、にているってことさ」と言われました。

私が伝えたかったことは、同じ人はいなくて、同じではなく似ているところがたくさんあるということです。同じものが好きでも詳しく聞いてみると好きどころが違っていたり理由が違っていたりします。

相手が自分と同じように感じたり考えたりしていると思っていると、それがずれていることが分かった時に「同じと思っていたのに、なんで違うの」と相手を責めたくなくなってしまいます。友達だからといって、周りのみんなが自分と同じように思っているとは限らない、他の人から「あなたもそう思うよね」と同意を求められて心の中では「自分はそうは思わない」と思っているでも「そうだね」と言ってしまったことがある人もいるでしょう、という話をしました。

そこで始めから周りの人は自分と同じではない、すべて同じ考えをもっているわけではないのだと思っておきましょう。似ていることはあるかもしれませんがと付け加えました。

私たちの周りには「男だから」「女だから」と一人一人を見ないで決めつけていることはありませんか。このように「男だから」「女だから」ということに問題を感じたみなとみらい本町小学校に通う子どもたちが「みんなの個性」という本を作りました。子どもたちが感じる「私の悩み」について答えを子どもたちが考えているので参考にしておいてほしい、A棟とD棟の間の1階廊下に貼ってあります。来校の際にご覧ください。

人権を大切にすることとは、誰もが安心して過ごせるということです。知らずに人を傷つけてしまった時には心から謝罪する、いじめなど人を傷つける場面を見かけた時には、おかしいと思うことに対して「やめようよ」と声を出す、普段の生活からあいさつや気持ちのよい言葉かけをすることなどいろいろな側面から子どもたちの意識を高めています。自他を大切にすることの育成へのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

子どもたちの人権やいのちを守るために

虐待や虐待の疑いがあると学校が判断したときには、学校は関係機関に報告（通告）することが法で定められています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。